



(茨木市章)

(ミネアポリス市章)

姉妹都市

SCAI

ニュース

協会報

第 4 号

昭和58年10月27日発行

編集・発行

茨木市姉妹都市

協会



市民外交の基礎を築き、66人帰国

11月1日にはミネアポリス市長来茨

● People to People —— 市民レベルの交流をめざし、7月21日から29日の日程で、姉妹都市ミネアポリス市を訪れた少年野球チーム・市民親善交流訪問団（北川 均団長、66人）一行は、ミ市民から盛大な歓迎をうけ、各地で精力的な交流活動を繰り広げました。

フレイザー・ミ市長を皮切りに、セントポール市長、ミネソタ州知事を表敬訪問したほか、茶華道や民謡の披露、商・工業施設の見学、また、少年

野球チームは大リーグ、ミネソタツインズの本拠地である屋根付き球場で、ハッスルプレーを展開するなど、あすへの市民外交の基礎を築きました。

なお、11月3日の「文化の日」に行われる市制施行35周年記念式典に出席するため、フレイザー・ミ市長ご夫妻をはじめとする10人の市民親善交流訪問団一行が、1日、本市入りされます。

〔写真は、お茶を通し交流をはかる訪問メンバー〕

身近に感じた アメリカ気風に感激

ミ市親善訪問団
団長 北川 均

姉妹都市ミネアポリス市訪問から帰国して早や3か月になりますが、訪問に際し、茨木市長、市議会議長はじめ、関係者各位のお見送り、出迎えや激励のことばをいただき、厚くお礼申し上げます。

想像どおり、湖のまちミ市は、美しく古き良き時代の風情を今に残し、1800年代のアメリカの面影をほうふつさせる建物が随所にあるかと思えば超近代的な建造物とがうまく調和しており、魅力あるまちでもありました。

アメリカ社会の社交的、率直で親切な一面は、ホームステイ、表敬訪問やレセプションの都度、身近に感じる事ができ、ややもすれば日本人に忘れがちな雰囲気へ接し、非常な感激を覚えたものです。また、表敬訪問したフレイザー・ミ市長をはじめ、ラティマー・セントポール市長、パーピッチ・ミネソタ州



フレイザー・ミ市長と共に(市庁舎で)

知事の若々しく、絶えず人を引きつける人柄は、忘れることができません。

今回の訪問は、多人数にのぼり、一方では少年野球チームの親善交流試合、他方では文化的諸団体の相互交流と多目的訪問でしたが、成功裡に終了できましたのは、その背景に両市姉妹都市協会のみなさんのご協力のたまものであり、井岡・若林両副団長はじめ、訪問団のメンバーのみなさんのおかげと感謝しながら帰朝のあいさつとします。

7/20 大阪空港発



日付変更線

ミ市訪問に参加して



都市と人間の 調和に感銘

副団長 若林三雄

歴史と美しい豊かな自然に恵まれた文化都市ミ市を訪問し、都市と人間との調和に感銘しました。

また、自然とのふれあい、家庭の伝統、自然を大切にする国民性、資源ある雄大な国にもかかわらず、冬場の暖をとるため、オガクズ、木枝を燃料に使うなど、まったくロスを出さない考え方は、素直に見直す必要があると考えます。



茶のころをともに

副団長 井岡千代子

チルドレンズシアター2階に特設された茶室には、フレイザー・ミ市長はじめ、市民50人を迎え、紋付袴に威儀を正した男性、優雅な着物姿の婦人が呈茶に特訓のお点前も鮮やかなお茶会が催され、風格ある伝統文化が披露されました。その茶室には、茶の心を象徴する重富市長直筆の軸が雰囲気盛りあげ、和やかに主客心一つに解け合った感動のひと時は、終生忘れることのできない思い出となりました。



▲英会話の特訓の成果を披露



▲なごやかな雰囲気少年と談笑

▼ミネアポリス空港で温かい歓迎を受ける訪問団



▲歓迎パーティーで団長が訪問団員を紹介

7/21 ミ市着・ミ市泊（ホテル）
歓迎夕食会



生涯心に残る思い出に

総監督 長井靖人

今回の訪問は、姉妹都市提携以来初めての少年野球チーム派遣ということで、少し不安がありましたが、心のこもったミ市民の歓迎で、滞在中の毎日を楽しく過ごすことができました。また、ドーム球場での試合・交流、大リーグ選手とベンチを共にするなど、日本では考えられない経験を積み、子どもたちも生涯心に深く残る思い出をつくり、私もすばらしい親善交流ができたことをたいへんうれしく思います。



協会基金確立が今後の課題

監督 又吉貞男

4月にチーム結成以来、毎日曜の練習には幸い天候にも恵まれ、混成チームとはいえ十分な練習ができ訪米に備えることができました。本番では、3勝5敗と不本意な成績ながら、親善交流という所期の成果は挙げられたと思います。ところで、今回の訪米で痛感したことは、今後交流の場を重ねていくためには、協会の基金を確立し、訪問団の旅費等について、一定の配慮をする必要があるのではないかとことです。



▲ミ市長らに三味線を贈呈



▲パレード球場で開幕試合



▲宿敵ゴファーズと熱戦展開



▲州庁舎を見学する一行



▲セントポール市長表敬訪問

◀州庁舎前で記念撮影

7/22 ミ市泊(ホームステイ)

フレイザー・ミ市長、ラティマー・セントポール市長表敬訪問、開幕試合(2対3●)



初の水上スキーにも チャレンジ

キャプテン 水谷 哲也

僕のミ市での思い出は、野球はいうまでもなく、ホームステイを経験できたことです。野球の結果は残念ながら3勝5敗でしたが、キャプテンとして出場した試合の事は一生忘れることができないと思います。ホームステイでは、家族のみなさんに親切にしてもらいました。試合のあいまをぬって湖でモーターボートに乗ったり、水上スキーやサイクリングなどにチャレンジしました。僕はもう一度、ミ市に行きたいです。



初めての海外旅行に 感動と驚きの連続

小西 貴美代

飛行機で日本を離れてからというものは、ずっと驚きと感動の連続で、立体模型を見ているような空からの眺めやミネアポリスの広大な美しい土地に魅せられてしまいました。

アメリカの生活は私に合っていたようで日本で食べられない果物も食べられ、不自由することなく過ごせました。帰るときには、友達となった人との別れもつらく、文通が続くこの友だちとまた再会できる日を楽しみにしています。



▲真剣にメモを取るスコアラー



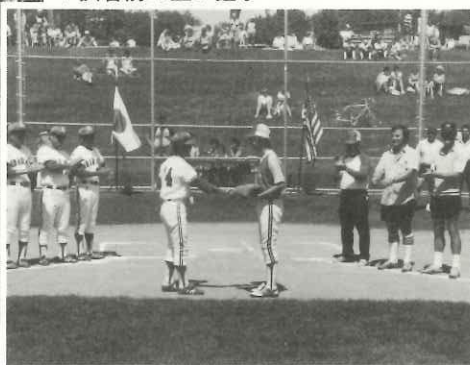
▲州鳥「アビ」が遊ぶ美しい湖畔

▼ホテルから望むダウンタウン



▲試合終了後お互いの健闘をたたえ合う両チームの選手たち

▼試合前の堅い握手



7/23 ミ市泊(ホームステイ)

終日ホームステイ家庭と行動、2試合(5対8●)・(1対5●)



生花を通し ミ市民と交流

茨木市茶華道連盟
会長 加藤 弥三

今回ホームステイによりアメリカ生活にふれ、ミ市訪問の各種の行事や見学に参加できたことに厚く感謝します。

私は生花の使節として参加しましたが、特に7月24日のチルドレンズシアターでの茨木シティーパーティーでは、10数杯のお花を現地のみなさんとともに生けることができ、生け方や花の見方、花の歴史などについて解説し、たいへん有意義なひとときを過ごすことができました。



ホームステイ に感激

長安 紀子
阿部 真紀

「外国に行く夢が実現する」という出発前の期待はたいへん大きく、実際はそれよりもっとすばらしいものでした。ホームステイさせていただいた女性がたいへん心優しいかたで、ハードスケジュールの一日が終わって、その家にもどると本当に心が安まりました。また、訪問する先々で心温まる歓迎をうけ、そのどれもが強く印象に残っています。こんな貴重な体験をさせていただいて、感謝の気持ちで一杯です。



▲ホームステイ宅でくつろぐ球児たち

▼生け花をミ市民に披露



▼静かなたたずまいを見せる住宅街



▲野球のあとは腕ずもうで対戦

7/24 ミ市泊(ホームステイ)

茨木シティーパーティーで茶華道、民謡を披露、2試合(6対9●)・(7対0○)



友情の灯は
いつまでも

茨木日本民謡同好連盟
会長 田辺昌男

このたびの親善訪問は、日本伝統文化の紹介、広大な緑と美しい湖、そして人情味あふれるすばらしいかたちとの出会いなど、終生忘れることのできないたいへん意義のある旅行となりました。

今後は、この教訓を生かし、両市の友情を深め今回点された灯が永遠に光り輝くよう願っています。緑なす ミネアポリスに 茨木の 友情の灯 仄々と、



印象に残った
よく働くアメリカ人

茨木オークライオンズクラブ
理事 加藤秀治

「日本人はよく働く」と、私たちは常に自負している。親善交流訪問団に参加、渡米して「アメリカ人はそれ以上によく働く」と感じた。バスの車窓から見る道路工事に従事する工事人。店頭で物を売る店員。すべてが与えられた職務に脇目も振らず汗を流し、また、顔一杯に笑みをたたえ客に対応する。おう盛な意欲とファイト。働くアメリカ人の姿が、印象に残った今回のミ市訪問旅行であった。

▼スネリング砦を見学



▼バスをおりてホットー息



▼風の説明に一苦労



▼ドーム球場でコーチの指導を受ける球児たち



▲大リーグのホームグラウンドで対戦

7/25 ミ市泊 (ホームステイ)

ミネソタ州知事主催の歓迎レセプション、ドーム球場で試合(0対13●)



ミ市婦人団体と 深まった交流

茨木市地域婦人団体協議会
会長 長嶋 シズ

このほどミ市の婦人団体代表のかたから規約資料などを送付していただきました。お国柄がちがうせい、婦人会活動にも大差があり、たいへん参考になりました。

澄みきった空と青々とした芝生につつまれたまち。庭の樹木で子リスが遊ぶ、温かい心の通ったまちミネアポリス。茨木市地婦協では、今後もミ市婦人団体と文通などを通じ、交流を深めていきたいと考えております。



心温まった ホームステイ

姉妹都市活動室メンバー
大西 毅

滞在中出会った人々は、どなたも親切で、笑顔で迎えてくれました。地方の祭りや近所の人々、そしてスーパーで会った見知らぬ人でさえ心温く、率直で寛大でした。

ホームステイでは、政治、経済等を語り合い、湖への見学と貴重な時間を費やして下さったことを忘れることはないでしょう。

また、ホームステイのクレグ夫妻と再び会える日を楽しみにしています。



商工会議所主催の昼食会(写真上)
ミネソタ州知事表敬訪問(写真下)



お別れに民謡を披露(写真上)
贈物を受ける少年選手(写真下)



名誉市民となりにつこり(写真上)
色々お世話になりました(写真下)

7/25 ミ市泊(ホテル)

両市交流計画ミーティング、サヨウナラ夕食会、2試合(7対0○)・(2対1○)



小冊子の親善

今井病院
副院長 今井 政治

英会話に随分不安のあった私でしたが、ミ市に着くまでの飛行機の中で英会話の小冊子を読破してから何か自信が付き、それまでの不安感が消え、充分とは言えないまでも英語が話せるようになり、それなりに友好・親善の役目を果たせたようです。

来年ミ市民が茨木市を訪れる時には、また役立てそうで楽しみです。両市の友好発展を願っております。



ホストファミリーは 長年の知人のごとく

看護婦 小西 信子

広大な緑の地に点々と散らばる無数の湖、地上から見た空は、視界をさえぎるものがないせいか、どこまでも広く、青く澄んでいたのが印象的だった。選手たちも心配された事故もなく、病気もせずに帰国できたことが、私にはたいへんうれしかった。ホストファミリーのかたがたには、心より親しみを感じ、長年の知人のごとく思えて、もうお会いする機会もないだろうと思うとすこし寂しい思いがする。



ホームステイありがとう(写真上)
再会を約す両委員長(写真下)



民謡に合わせて踊る両市民(写真上)
再会を誓う两市少年たち(写真下)



お世話になりましたと笑顔でお別れ
(写真上) また会いましょう (写真下)

7/26 ミ市発



日本語で書かれた エンジーからの手紙

スコアラー 高瀬由佳

ミ市に行って良かったことは、ホームステイ家庭のエンジーという子と、友だちになれたことです。エンジーは手紙に、慣れない日本語で、英語の意味を書いて送ってくれます。やっぱり日本語は難しいようで、数字のようなひらがながあります。でも、一生懸命に書いてくれたのがよくわかる手紙です。だから私はそんなエンジーの手紙がうれしいです。これからも、初めての外国の友だちを大切にしていきたいです。



花開け、^ミ姉妹の情、

茨木市役所市長公室人事課
田村 哲

昭和53年の市制施行30周年記念事業として計画された姉妹都市事業に、事務局職員として今日までその事務に携わってきましたが、今回ミ市を訪問し、ミ市民との交流を通して姉妹都市事業の意義が実感として自分のものになったような気がします。少年野球試合、ホームステイ、お茶・お花の披露、各種団体間同士の交流やさまざまな歓迎行事等を通して芽生えた「姉妹の情」が、将来大きく花開くことを願っています。

ホームステイ家庭から 寄せられた心温まる手紙



寄せられた
ミ市からの手紙

親善訪問団のメンバーとして参加したかたがたに、それぞれのホームステイ家庭から心温まる手紙が寄せられています。そこで、そのなかのいくつかを抜粋しご紹介します。

〔シャウ・ジャンカーさんから原 博司君へ〕

あなたが私たちの家に滞在してくれて本当にうれしかったです。私の両親と私は、来年の夏、日本へ行くため、あなたの国のことばを勉強してい

ます。

来年、あなたと会えることを首を長くして待っています。

〔ジェフ・トンプソンさんから大石浩高君へ〕

いかがお過ごしですか。ミ市から日本への旅が快適であったことを望んでいます。いま、僕たちのチームはオランダで世界大会に参加しています。

また手紙をください。

〔ストウ・エキストランドさん一家から松浦直美さんへ〕

あなたと友だちになれて私たち家族はとてもすばらしい経験ができました。いっしょに過ごしたすてきな時をいつまでも覚えているでしょう。私たちは、将来、あなたがたご夫妻の当地滞在を待っています。

〔シスさん一家から辻本芳明君へ〕

私たちは君を家に迎え本当に楽しかった。日本への帰国の旅が快適なものであったことを願っています。

日付変更線



7/29 大阪空港着

美術・演劇や教師の交流を、

両市間で今後の交流へ意見交換

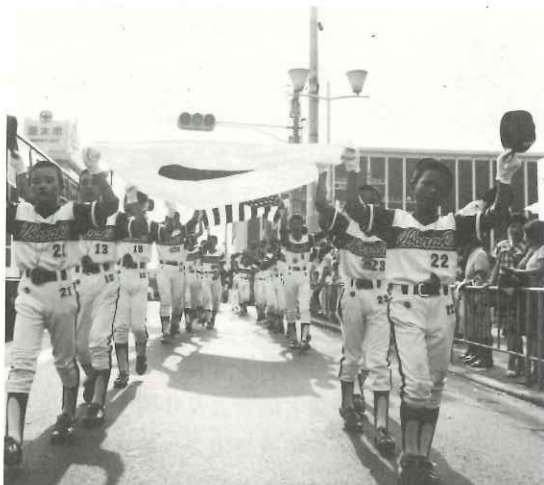


訪問団一行と今後の交流計画を話し合うミ市役員

滞在最終日の7月26日、本市訪問団(成人)とミ市姉妹都市委員会との間で今後の交流の可能性について意見交換が行われ、①婦人同士の交流の促進 ②学生のホームステイ受入体制の整備 ③ボーイ・ガールスカウトの合同キャンプ等による交流 ④各種のスポーツ交流 ⑤美術関係者の交流などが話し合われました。

また、ミ市側の劇場関係者から舞台・演劇を志す人たちのミ市受入れと本市での公演希望、さらに同日の州知事表敬訪問の際には、同知事から教師の交換派遣が提案されました。

これらの内容については、今後、両市姉妹都市協会が具体的に話し合うことになりました。



帰国早々パレードに参加する球児たち

ミ市での感激胸に フェスティバルパレードへ

7月29日帰国した少年野球のメンバーは、感激さめやらぬ7月31日、夏の祭典として開かれていた茨木フェスティバルのパレードに参加しました。

国鉄茨木駅～阪急茨木市駅を経由する同パレードには、日本とアメリカの国旗を先頭に、真っ黒に日焼けした選手たちが帽子を振りながら沿道を取りまく市民にあいさつ。市民からは「ご苦労さん」とねぎらいの言葉がかけられました。

民際外交の到来に大きな夢 訪問団のみなさんご苦労さまでした

茨木市長 (茨木市姉妹都市協会会長) 重富敏之

この度、茨木・ミネアポリス両市間の友情深化のため、尊い汗と営みにより、立派に親善訪問の使命を果たし、全員元気に帰国されました訪問団のみなさん、本当にご苦労さまでした。心からお礼を申し上げます。

今回の訪問が、このように成功裡に終了いたしましたのは、訪問団のみなさんのご尽力はもとより、盟約締結以来4年間に培われた両市間の友情を礎に、少年野球試合、わが国の伝統文化であるお茶やお花の披露を通しての交流、そして心温まるアメリカ家庭でのホームステイなど、幅広く、しかも心の通った温かい人間交流が展開され、結実したからにほかならないと考える次第であります。

しかしながら、それ以上に喜んでおりますのは、今日の国際化に呼応し、国際感覚に満ちた市民社会の形成と、豊かな市民文化の開花を願う市民意識が全市民的なものとして定着しつつあり、市民レベルの本格的な「民際外交」の時代が到来したことを肌で感じたからであります。そういう意味で、今回のミ市

訪問は、輝かしい21世紀に向かってはばたく「ふるさと茨木」に、力強い勇気と大きな夢を与えてくれました。

本年、市制施行35周年という意義ある年を迎え、来たる11月3日挙行の記念式典に、フレイザー・ミ市長がご列席されるなど、今後、両市間の姉妹の情はより一層深化するものと思われませんが、外には大きな目、そして内には郷土愛に満ちた全市民的な姉妹都市活動となりますよう、全力を傾注してまいり所存でございますので、ますますのご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。



健闘をたたえ球児たちと握手する重富市長

英会話の練習に真剣に取り組む訪問団一行



みなさんの協力で ミ市での交流深まる

今回の少年野球チーム・市民親善交流訪問団訪米に際し、ミネアポリス市での交流が円滑に行われ、実り多いものになるようにと、出発前の準備に、各方面のかたがたから献身的なご協力をいただきました。

日本の伝統文化であるお茶・お花を現地で披露し、ミネアポリス市民の方々にも参加してもらおうと、茨木市消費者協会会長井岡千代子氏、茨木市茶華道連盟会長加藤弥三氏を中心とした訪問団員の打合せおよ



本番に備え練習に汗を流す球児たち

びけいこ（3回）、日本民謡を海外に紹介するために製作した英語版「茨木小唄」（茨木日本民謡同好連盟会長・田辺昌男氏作）をみんなで歌おうと、大阪市立天王寺中学校教諭で関西歌劇団所属テノール歌手三好数彦氏（山手台三丁目在住）指導による練習（2回）、ミ市での親善交流会において少年野球チーム全員で英語の歌を披露するために、声楽家田口麻知子氏（穂積台在住）による歌唱指導、練習と努力の甲斐あって、現地においてその成果は存分に発揮され、ミネアポリス市民の賞賛的となりました



ホームステイでのマナーも勉強



英語版「茨木小唄」を練習

また、毎月1回例会を行い、外人ゲストを迎えて英会話の学習に励んでいる姉妹都市活動室メンバーによる英会話講習(4回)、米国での8年間にわたる生活をもとに、日米の習慣の違い等をお話いただいた伊藤博捷氏夫妻(北春日丘三丁目在住)のマナー講習は、4日間滞在したホームステイ家庭での力強い心の支えとなり、家族の人たちとすっかり仲良くなりました。

そのほか、11回にわたった少年野球チームの練習の指導、練習試合の審判にとご協力いただいた多数の野球関係者のかたがた、お茶・おしぼりを用意し応援していただいた父兄のみなさま、さらに練習場として施設提供、交流に役立てて欲しいと過分のご寄付をいただいた多数の方々のご協力を忘れることはできません。

ご協力いただいたみなさまがたに心からお礼を申し上げます。

緊張した面持ちでお茶の練習に励む訪問者



本番さながら、一段と熱がはいるお花の練習

ご協力ありがとうございました

このたびのミ市訪問に関し、物心両面のご協力をいただいたかたがたは次のとおりです。

〈50音順、敬称略〉

〈寄付〉

〔現金〕 茨木オークライオンズクラブ▷東京芝浦電気(株)大阪工場▷(株)和光トロフィー

〔物品〕 茨木市スポーツ少年団本部▷近畿コカ・コーラボトリング(株)▷田辺昌男▷東京芝浦電気(株)大阪工場▷水谷鈴二▷明治生命保険(相)茨木支社

〈施設提供〉

近畿コカ・コーラボトリング(株)

〈行事協力〉

〔英会話講習〕 大西 毅▷岡田資子▷岸田きよ子▷北本幸子▷下村洋子▷永井由美子▷西本しのぶ▷増谷豊子▷松本和子▷森 美恵子▷吉田直樹▷和田多磨子

〔マナー講習〕 伊藤博捷▷伊藤由紀子

〔歌唱指導〕 田口麻知子▷三好数彦

〔茶華道披露〕 井岡千代子▷加藤弥三一▷野中保家

〔練習場確保〕 茨木少年軟式野球連盟

〔激励金〕 茨木市長▷茨木市議会議長



**大阪城博覧会入場券
前売に多数のご協力**

大阪築城400年まつりの一環行事として、11月23日(祝)まで大阪城を中心に開かれています大阪城博覧会の前売券を発売しましたところ、多数のみなさんのご協力を得ることができました。

心からお礼を申し上げます。ありがとうございました。

茨木市における国際交流の足あと

—— 第3号以降の経過 ——

(1982)

- 57・10 ミ市インターナショナルマルチフード社ジョゼフ・A・デバノスキー副社長来茨
- 11 「姉妹都市ニュース」第3号発行
- 11 ミネソタ州知事ルー・パーピッチ氏ほか8人来日。茨木市長らと懇談
- 12 ミ市・茨木市姉妹都市委員会委員長ロジャー・クレイマー氏およびミネソタ・ゴールドエン・ゴファーズ監督ガーリィ・ダウニング氏からクリスマスリースが送付される。庁舎1階ロビー姉妹都市コーナーおよび茨木市福祉文化会館1階ロビーに展示

握手をかわす市長とミネソタ州知事



◀ 姉妹都市コーナーでクリスマスリースに見る家族つれ



(1983)

- 58・3 ミ市インターナショナルマルチフード社ジョゼフ・A・デバノスキー副社長ほか4人来阪
- 4 協会定期総会開催（57年度事業・決算報告、58年度事業計画・予算の承認）
- 5 ミネソタ大学学生デイビッド・ブランド氏（京都に留学中）、市立南中学校で英語の授業に参加し、姉妹都市活動室に出席
- 7 ミ市公立学校教師バーバラ・O・ダウさんと娘さんのキャンデイス・ダウさん、市長表敬訪問し、市立沢池小学校を授業参観後、姉妹都市活動室に出席
- 7 ミ市インターナショナルマルチフード社ジョゼフ・A・デバノスキー副社長来阪
- 7 少年野球チーム・市民親善交流訪問団一行66人ミ市訪問。ミ市長、セントポール市長、ミネソタ州知事を表敬訪問したほか、少年野球の試合、茶華道の披露等により交流。その際、118枚の児童画持参
- 8 リューベック市へ122枚の児童画を送付
- 8 協会理事岡田資子氏ミ市訪問
- 9 茨木高校2年生の原 千賀さんミネソタ州のラファイエットハイスクールに留学
- 9 ミネソタ州議会議員アラン・H・スピアー氏来茨。市長・議長表敬訪問
- 9 ミネソタ大学教授ウィリアム・H・ダグラス教授来茨。市長表敬訪問



▲ 沢池小で授業参観するダウ親子



◀ 市長らと歓談するスピアー州議会議員



▲ 市長と談笑するダグラス教授



茨木市では、本年市制施行35周年という意義ある年を迎え、その記念式典が来たる11月3日、市民会館大ホールにおいて、姉妹都市・ミネアポリス市のドナルド・M・フレイザー市長ご夫妻らのご列席を得て、盛大に行われます。

昭和55年秋、豊かな自然に包まれた美しい都市ミネアポリス市において、茨・ミ両市間の友情を誓いあった歴史的な姉妹都市の盟約調印以来、二度にわたるミ市訪問団の来茨、今夏の本市訪問団の訪ミなど、数々の人的・文化的交流を通してそのすそ野を広げ、両市間の友情と信頼の絆はますます強まっております。

こうした折、かねてより茨木市訪問を強く希望されていたフレイザー市長から「今回念願かなって、やっと姉妹都市・茨木市を訪問できることになりました。記念式典では、ミネアポリス市民40万を代表して、親愛なる茨木市民のみなさまに是非お祝いの言葉を申し述べたい」という親書が届き、このたびの喜びとなったものです。

このフレイザー市長ご夫妻の来茨により、両市間の友情は一層深化することが期待されます。

〔来茨予定者〕

▷ドナルド・M・フレイザー・ミ市長ご夫妻▷ミ市姉妹都市委員会委員長ロジャー・クレイマー氏▷市長の友人、ジェラード・R・ディロンご夫妻▷イレイン画廊経営者、イレイン・リンドパーク母娘▷画家、ドクター・ピータ・マーク夫妻▷少年野球チーム監督、ガーリィ・ダウニング氏

11月1日にミ市長夫妻が来茨
式典等市民との交流を計画

ミネアポリス市長一行訪問プログラム

日	時	行 事 名	場 所
11月 1日(火)	14時00分	大阪国際空港到着 市長・議長表敬訪問 環境衛生センター等見学	大阪国際空港国内線 市役所 環境衛生センター
	午 前	工場見学	東芝大阪工場
	午 後	日本庭園見学 隠れキリシタン等見学	万博日本庭園 千提寺東氏宅
3日(木)	午 前	「市制施行35周年記念式典」列席	市民会館大ホール
	午 後	婦人問題講演会 公民館へ行く、ライブラ リーフェスティバル見学 「親善交流の夕べ」	福祉文化会館文化ホール 中央公民館・図書館 福祉文化会館302号室
	4日(金) 終 日	大阪城博覧会等見学	大阪城
5日(土)	10時02分	箱根へ向け出発 (市長ほか6人)	新大阪駅
	15時30分	ミネアポリスへ向け出発 (クレイマー氏、ダウニング氏)	大阪国際空港国際線
	19時20分	ロンドンへ向け出発 (市長夫人)	大阪国際空港国際線

市長夫人記念講演会へ
お気軽にどうぞ

フレイザー市長夫人のアルボンさんは、アメリカでは、婦人問題についてたいへん造詣の深い方として有名な方です。

このため当協会では、来日を記念し、世界共通の課題である婦人問題について、アメリカの事例を中心とした記念講演をお願いしましたところ、快諾を得ましたので、次のとおり記念講演会を実施します。



日 時 昭和58年11月3日(木)
午後2時から午後3時30分まで
場 所 茨木市福祉文化会館5階文化ホール
演 題 婦人の地位向上への歴史
講 師 国連婦人会議アメリカ合衆国
代表 アルボン・S・フレイザー氏

姉妹都市協会会員募集

本協会では、国際親善に熱意を持ち、とりわけ文化の香り高いミネアポリス市に関心を持っておられるかたがたの入会を心からお待ちしています。会費（年額）は次のとおりです。

個人会員（一般） 2,000円
（学生） 1,000円

団体・法人会員 1口 5,000円

会員には、協会報、会員証をお渡しするほか、会の催す各種行事へのご案内等の便宜をはかります。

（申込先）

茨木市駅前三丁目8-13 茨木市役所人事課内
茨木市姉妹都市協会事務局（電話②8121内線216）

会費の納入はお済みですか

9月30日現在、すでに273人（個人・団体・法人）の方々から会費の納入をいただいておりますが、一部未納の方がおります。安定した事業資金、運営経費の確保のためにも、未納のかたは、速やかに納付をお願いします。

詳しくは、協会事務局まで

姉妹都市活動室へお気軽に

広く、海外や、姉妹都市活動、英語等語学に関心をお持ちの方々が、気軽に誰でも集まれる場として「姉妹都市活動室」を設置しています。

活動室では、外人ゲストを招いて講演および意見交換、英会話の学習、姉妹都市ミネアポリス市の研究等幅広い活動を行っています。

例会は、毎月第三土曜日、午後2時から4時まで、茨木市福祉文化会館内で行っていますので、どうぞお気軽にご参加ください



月1回、活発な活動を展開する活動室

ミ市をご存じですか 講演に出向きます

姉妹都市協会事務局では、今回訪問しました事務局職員が姉妹都市ミネアポリスを少しでも市民のみなさんに知っていただこうと、小グループや団体等のご希望に応じて講演にお伺いします。

8ミリ「訪問団の記録」をお貸しします

今回の市民親善交流訪問団の一員として活躍されました藤井一臣氏〔写真〕は、趣味の8ミリの腕を生かし、ミネアポリス市民との親善交流の様子や、美しい湖や森に囲まれた



ミネアポリス市のすばらしい自然を60分のフィルムに編集されました。

今回の訪問団の記録として、藤井一臣氏 また、今後の交流の貴重な資料として、姉妹都市協会がお借りしました。なお、協会事務局が撮影しました8ミリ（40分）フィルムもあります。

ご希望のかたは協会事務局（市人事課内）までご連絡ください。

